

## ふるさとの昔 13

### 渡船場

かつて勝山から鶴沼にかけての中山道は難所の一つでした。特に岩場の観音坂越えは急坂で、人はもちろん荷物の運搬が困難でした。このため利用されたのが渡し船で、木曾川右岸の勝山湊(取組地内)と左岸の尾張国栗栖<sup>くりす</sup>を結んでいました。

勝山湊からは中山道や加治田街道(名古屋街道)、郡上街道(犬山街道)を通って集まった米や薪が積み出され、犬山・桑名・名古屋方面へ運ばれました。けれども明治20年ころに木曾川沿いに鶴沼にぬける平坦な道ができると、荷物は馬車や大八車で新道を運ばれるようになり、湊の役割は低下しました。

勝山湊の渡船場は、明治35年に下流の岩屋観音下に移転されました。両岸に張り渡したワイヤーと滑車を使って、水の流れる力を利用した岡田式渡船法が採用され、増水時にも運航でき、それまでより大型の船も使われました。栗栖との渡船は昭和30年ころまで営業されていました。



岩屋観音下に移った渡船場 昭和初期



### さかほぎかう!

パーソナリティ: 小栗かおる

毎月第三火曜日

18時～18時20分

次回のゲスト スポーツ推進委員会 菅沼 誠嗣 さんです。お楽しみに!

#スポーツで健康 #スポーツで楽しもう

スマートフォンでもFMららを聴くことができます。FMららアプリダウンロードはこちらから。

App Store  
からダウンロード

Google Play  
で手に入れよう

町民俳句 文化協会さかはふり俳句会

# 広報文芸

蛇穴を出で戸惑ひの大地かな	みどり児の欠伸まんまるあたたかし	下萌の色濃くなりし畑の道	駅前を通り寂れて春一番	水温みけり思ひきり石投げて	こぼれ種庭よりあふれ出づる色	花粉症あれど息災よく歩き	手をこぼる早生大根の小さき種	夢弾む不安も少し花の種
兼松 禎子	兼松 禎子	ほぎ子	伊藤 文	伊藤 文	恩田 いせ子	恩田 いせ子	小関 美砂子	小関 美砂子

## 5月のゴミ収集情報

【もえるごみ収集日は、月・金曜日です。】

※資源物収集日には、収集ボランティア「コスモス」がペットボトルキャップを回収しますので、ご協力ください。

※ごみの出し方については、正しく分別し、決められた日時に、集積所へ出してください。

不燃ごみ収集 20日(火)

缶・ビン(食品用・飲料用)を分けて「資源袋」に。  
金物、ガラスくずを分けて「もえないごみ収集袋」に。  
袋に入らない規定の大きさまでのごみは「粗大ごみシール」を貼って出してください。

資源物収集日 18日(日)

時間: 8時～10時  
場所: 町内各自治会公民館  
収集物: ペットボトル、食品トレイ、蛍光灯、水銀式体温計、紙パック、廃食用油、乾電池

前田 良子 様(黒岩)	小島 孝司 様(勝山)	苅谷ひさこ 様(酒倉)	苅谷 時夫 様(酒倉)	おくやみ
93 歳	87 歳	99 歳	91 歳	